

病気になる遺伝子を探そう

展示責任者 徳永勝士(東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野)



私たちは、さまざまな病気への「かかりやすさ」や「かかりにくさ」、あるいは病気の重症化などに関する遺伝子を探すための研究を支援しています。このような病気の遺伝子を見つけ出すためには、多くの場合、(1)ゲノム全域から病気の遺伝子がありそうな領域を探し出す、(2)探し出された領域をより詳しく調べて病気の遺伝子を決定する、という2段階の研究を行います。

私たちの「ヒトSNPタイピングセンター」では、(1)のために90万種類ものSNP(単一塩基多型)を多数の患者、健常者それぞれについて大規模な解析を行っており、また、(2)のためにどんなSNPでも高い成功率で解析できる新しい技術を開発し運用を開始しています。現在、私たちが大規模な解析を担当している病気には、糖尿病、

多系統萎縮症とよばれる神経疾患、パニック障害とよばれる精神疾患などが含まれ、また私たち自身もナルコレプシーとよばれる睡眠障害、変形性関節症などについて研究をしています。

